

令和5年2月（第2回）光市教育委員会会議の要旨

1 開催日時

令和5年2月2日（木） 午後2時50分～午後4時10分

2 場 所

教育委員会事務局 1階ホール

3 出席者

伊藤教育長、寺崎委員、平岡委員、武田委員、岩佐委員

4 事務局

教育委員会事務局：升教育部長、原田学校教育課長、門岡学校教育課主幹、国広文化・社会教育課長兼人権教育課長、眞嶋図書館長、三好体育課長、高橋学校給食センター所長、吉永教育総務課長、秋友教育総務課経理係長、清水教育総務課管理係長、宮本学校教育課学務係長、西文化・社会教育課社会教育係長、植木文化・社会教育課文化振興係長、河原文化・社会教育課歴史文化担当係長、小田人権教育課人権教育係長、小田体育課体育係長

5 教育長報告

- (1) 施設一体型小中一貫やまと学園の進捗状況について
- (2) 中学校部活動改革について
- (3) ご寄附の報告について

6 議 事

(1) 議案及び報告

ア 議案第1号 令和5年度光市一般会計教育費関係予算案について

(ア) 概 要

令和5年度光市一般会計教育費関係予算案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条及び教育長に対する事務委任等に関する規則第2条の規定に基づき教育委員会の意見を求めるため、本案を提出。

(イ) 内 容

令和5年度光市一般会計教育費関係予算案について、各課より説明。

(ウ) 主な意見等

① 意 見

教育支援センター運営事業について、支援センターは、市の中心部に位置するが、利用者の通所に対する支援はあるのか。また、利用者は給食を利用することはできるか。給食を利用することで学校の良さを再確認できるかもしれない。

回 答

通所に対する支援は、現時点ではない。ご指摘のとおり、通所手段がないこと

が利用できない要因となる可能性もあるため、支援について検討していきたい。

また、給食も現時点では利用することはできない。搬送など課題もあるが、今後、検討していきたい。

意見

例えば月に一度、給食の試食なども考えられる。まなびばに勉強しにくるだけでなく、給食の利用など様々な角度から学校生活を感じてもらえることではないか。

また、通所支援は市役所行きのバスルートを活用することも考えられる。様々な可能性を検討してほしい。

② 意見

光っ子教育サポート事業について、具体的な配置基準はあるのか。

回答

配置基準は設けてない。配置にあたり、各学校から聞き取りや資料提供により支援の必要性を確認している。児童生徒の状況はそれぞれ異なり、基準を設けて一律に配置するのではなく、その子に応じた必要な支援を実施している。

意見

児童生徒の状況に併せて適切に対応するのはとてもよい。今後もよろしく願いたい。

③ 意見

中学校部活動改革推進事業について、コーディネーター1名を配置するとあるが、どこに配置するのか。

回答

現時点では、教育委員会内に配置する予定。

意見

以前、所管課が決まっていないという話があったが、今後は国や県の方針に沿って取組を進めていくのか。

回答

国が示すガイドラインで、コーディネーターに関する方向性が示された。今後もガイドラインを参考に進めていきたい。

回答

組織について、具体的な体制は未定だが、学校教育課、体育課、文化・社会教育課など関係所管が連携して対応していきたい。

意見

一人のコーディネーターに負担が集中するのではなく、効率的に取組をすすめ

てほしい。

回 答

来年度は、現在の部活動と地域移行が並行してじわりと進んでいくイメージ。その流れをうまく作っていくことが、コーディネーターの来年度の主な業務となる。

④ 意 見

学校ICT支援事業について、令和6年度にデジタル教科書の本格導入との記載があるが、予算はそれに向けたハード面の支援ということか。

また、現時点で操作方法のトラブルなどに対する支援などあれば、具体的な内容を教えていただきたい。

回 答

令和4年度からの長期継続契約で、操作方法やアプリのインストールに対する支援を実施している。新たにデジタル教科書などのインストールを支援する業務を追加する。

回 答

一番イメージしやすいのは年次更新の手続き。進級や進学に伴い、すべての児童生徒に対し、端末の中身を入れ替える対応が必要となるが、短期間に素早く実施するため専門業者に委託しているもの。

また、すべての端末でデジタル教科書とタブレット端末を紐づけるためのアカウント設定が必要となる。計上した予算は、タブレット端末の様々な設定やトラブル対応に対するもの。

専門業者による様々な支援により、タブレット端末に関する教職員の負担軽減に繋がっていることが、このICT支援業務の一番の効果である。

意 見

学校見学で、授業でタブレット端末を活用している状況を伺うことができた。今後も新たな課題にしっかりと対応していただきたい。

⑤ 意 見

英語スピーチコンテストで令和4年度に試行した小学生の部について、正式に開催することだが、対象を広げ、子どもたちが英語に興味をもつきっかけとしてほしい。

高校生を対象とするなど特色のある取組により、今後、更なる拡充を検討していただきたい。

回 答

今後も更なる事業の拡充に努めたい

(エ) 議 決

全員一致で承認される。

イ 報告第8号 区域外就学の承認について

(ア) 概 要

区域外就学の承認について、事務局より説明。

(イ) 内 容

区域外就学の協議及び申請のあった4名を承認したことについて報告するもの。

(ウ) 主な意見等

① 意 見

資料に住所などかなり詳細な個人情報が記載されているため、記載内容についてご検討いただきたい。

回 答

光市立学校の通学区域に関する規則により、小中学校の通学区域は、保護者の住所地の属する学区の学校となるため、個人情報保護と規定の判断材料として記載する情報のバランスについて検討したい。